

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
45	45	広報作成等業務	一般	02	一般会計
基本施策	57	伊賀市としての一体感を生み出す	02	01	総務費
			項	01	総務管理費
			目	02	文書広報費
担当部課名		企画振興部 広聴広報課	細目	102	広聴広報業務経費
作成者氏名	植田 美由喜	連絡先	細々目	01	広報作成等業務経費
		22-9636			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	伊賀市全世帯	各所属からの有益な行政情報を的確に伝え、市政の周知を図る。
本年度事業内容	毎月1日号16ページ、15日号8ページを基本とし、行政情報を集約した広報紙を発行する。(1月号のみ5日16ページ発行) 文字の大きさ、文章や言葉、色彩、レイアウト等に工夫をし、ユニバーサル対応を検討する。 月1度、本庁・支所の広報担当者会議を行い、広報行政の充実を図っている。 月2回自治会を通じて広報他市の発行するチラシ等の配布及び直送を行う	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
		根拠法令・要綱等
		伊賀市広報事務取扱要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	2	2	2
人件費合計(A)	14,400	14,400	14,400
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	19,114	19,150	19,150
委託料	6,994	6,794	6,794
需要費	10,743	11,466	11,466
使用・賃借	1,108	627	627
その他	269	263	263
合計(A+B)	33,514	33,550	33,550
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金	7,038	7,015	7,015
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	26,476	26,535	26,535
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
広報等直送者分	世帯	1,190	1,200	1,200			
広報配布部数	世帯	34,900	35,000	35,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
広報配布割合	分母に住民登録世帯数(外国人世帯を含む)、分子に広報配布部数とする。⑰37,377世帯、⑱38,200世帯、⑲38,500世帯	%	93 目標 ()	92	91
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併と同時に月1回発行(毎月1日)としていたが、1号あたりのページ数が多くなり、配布が困難であった。
 平成18年4月から、市民のみならずにより新しい情報を早く伝えるため合計ページ数を変えず月2回(1日号・15日号、1月号のみ5日発行)発行とした。
 各戸配布のチラシ等を可能な限りなくし、その情報を広報紙に掲載する
 4. 6%に達する外国人住民に対する広報紙の情報量増が求められている。
 インターネットでも閲覧可能である。

評価	必要性	4	平成18年度から月2回発行とし、情報提供を行っている。月1回発行時と総ページ数の変更なしで地区委員さんの理解を得ている。配布コスト(直送分)についても月1回配布時ほぼ同様である。月2回発行で時期に応じた細やかな情報提供ができ情報量が相当増えている。タイムリーな情報提供や、情報量などを考慮すると月2回発行が適切であるのでしばらくはこの形態としたい。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		